

□異体アラニンラセマーゼ Y354N (Geobacillus stearothermophilus 由来)、組換え品

Cat. No. NATE-1639

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明 □異体アラニンラセマーゼ (Y354N) (mAR-Y354N) は、ピリドキサル 5-リン酸 (PLP) 依存性の酵素で、L-セリンとD-セリンの相互□換を触媒します。WTアラニンラセマーゼでは、Tyr354がアラニンに□するARの□密な特異性を定義する上で重要な役割を果たし、L-アラニンをD-アラニンに□換します。D-アラニンは細菌細胞壁のペプチドグリカン層の重要な成分です。活性部位のTyr 354をAsnに□異させることで、酵素の特異性が□化し、L-アラニンとL-セリンの二重特異性を持つラセマーゼになります。

用途 □異体アラニンラセマーゼ Y354N は、L-セリンをD-セリンに、L-アラニンをD-アラニンに□換するために使用できます。

別名 アラニンラセマーゼ Y354N; alr; dal

製品情報

種	ジオバシラス・ステアロテルモフィルス
由来	E. coli と N-末端で His タグに融合されました
形態	凍結乾燥された
製剤化	20 mM Tris-HClバッファ (pH 8.0) に100 mM NaClおよび10%グリセロールを含む1 mg/ml。
EC番号	EC 5.1.1.1
分子量	43 kDa
純度	> SDS-PAGEによる99%
活性	> 50 mU/mg
単位定義	1ユニットの酵素は、ピリドキサルリン酸の存在下で、37°CおよびpH 7.4で1分あたり1μmoleのL-セリンをD-セリンに□換します。

使用法とパッケージング

再構成 50 mMリン酸緩衝液 (pH 7.4) で酵素を再構成してください。

保管・発送情報

保存方法 再構成された酵素は、-20°Cで作業用アリコットに保存し、3ヶ月以内に使用できます。繰り返しの凍結-解凍サイクルを避けてください。